

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	4
サポートクラス	ダンサー	Lv.1:	ダンサー	性別	♀
称号クラス				年齢	15
種族	ヴァーナ			境遇	天涯孤独
出自 (効果)	冒険者			目標	好奇心

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	9	10	18	6	12	9	10
ボーナス	3	3	6	2	4	3	3
クラス修正	0	1	2	0	1	1	1
他修正							
能力値	3	4	8	2	5	4	4

HP	50
MP	47
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	カタール	至近	0	5	0	0	0	0	0
左手	カタール	至近	0	5	0	0	0	0	0
頭部									
胴部	踊り子の衣装				1	1			
補助									
装身具	シーフズツール								
能力値			4	0	8	0	4	13	8
スキル									
その他									
総計(右)			4	5	9	1	4	13	8
総計(左)			4	5					
総計(両)			4	10					
ダイス数			2 d	2 d	2 d				m

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	5			5	+ 3 d
トラップ解除	4		1	5	+ 2 d
危険感知	5			5	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定	4			4	+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	
MPポーション	
MPポーション	
MPポーション	

現在重量:	8	所持金:	2230	預金・借金:	
最大重量:	9				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
オーバーパス	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: 狼族、移動力+5m、行動値に+1								
ワイドアタック	2	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中	-	
効果: 武器攻撃を行う。命中判定の達成値に+SL								
ソードダンス	★	5	マイナー	-	自身	自動	-	
効果: 白兵攻撃が「メジャー」+【敏捷】								
ピアシングストライク	2	5	ダメージロール前	-	自身	自動	-	
効果: ダメージロール+[(SL)D]								
ダンシングヒーロー	★	-	判定直前	-	自身	自動	-	
効果: 判定に+1D。1回/ターン								
インタラプト	★	-	効果参照	視界	単体	自動	-	
効果: 対象が使用した「タイミング:パッシヴアイテム」以外のスキルの効果を打ち消す。対象は通常通りにコストを消費する。1回/ターン								
アンビデクスタリティ	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: 左右に持っている短剣の「命中修正」「攻撃力」「行動修正」を合計し「装備部:双」位の武器として扱う								
バタフライダンス	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: 回避判定+1D								
アームズマスタリー:短剣	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: 短剣使用時の命中+1D								
ランナップ	★	3	セットアップ	-	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動、あるいはエンゲージ離脱を行う。封鎖状態の場合は離脱不可。								
ディセクトエッジ	★	4	マイナー	-	自身	自動	短剣	
効果: 1点でもダメージを与えると対象の命中判定-1D、戦闘終了まで								
フェザータップ	★	3	ムーブ	-	自身	自動	-	
効果: 飛行状態になり戦闘移動を行える。								
エアリアルレイブ	1	7	Xジャー	至近	単体	命中	飛行	
効果: 命中+1D、ダメージ+[SL*3]								
ファインドトラップ	★	-	パッシヴ	-	自身	-	-	
効果: トラップ探知+1D、失敗しても罠が作動しない								
ストリートワイズ	★	-	Xジャー	-	自身	幸運	-	
効果: 情報収集を【幸運】で行い、判定に+1Dする								

「あ、あの…踊り…とか…見ませんか」  
(すごく興味を引かれる物を見つけた)「…!!(耳がピンとして目がキラキラします)」  
「…怖がらないで、すぐに楽になるから」

【作成時ハンドアウト】  
コネクション:傭兵団団長 関係:好敵手  
君は長年所属していた傭兵団の団長と袂を分かち、団を離れた。

【経歴】  
透き通るような銀毛が特徴的な狼族の少女。  
人見知りで口下手な為口数は少ないが、顔によく出るので親しい人からは可愛がられやすい。  
とても綺麗な毛並みの尻尾を持っておりたまらずもふもふされる事が多い。  
人見知りなためビクビクするが、嫌いではないとのこと。

「サーシャ」とは「アレキサンドラ」の略称で、幼い頃に両親から呼ばれていた呼び方だが、本人は「サーシャ」が自分の名前だと思っている。  
両親とは早くに死別しており、身寄りがなく彷徨っていたところをとある傭兵団に拾われた。  
それからは天性の敏捷性と巧みな双剣術で、多くの者を葬り去ってきた。  
その動きは「舞うように優雅であり、閃光の様に苛烈」と恐れられている。  
パリソ同盟とヴァンスター帝国の戦争においても度々要人暗殺等に関与しており、知る人は名前を聞いただけで震え上がる程である。

そんな凄腕の暗殺者でありながら、実は命を奪う事に抵抗を感じており、容易に人の命を奪ってしまう自身の存在に嫌悪感を抱きながら生きてきた。  
近年、戦線の膠着などから離団者が相次いだ事、戦いに疲れた事もあり自身も新しい生き方を見つけようと傭兵家業から足を洗う決意をする。

